

令和4年度 大阪市城東区社会福祉協議会 事業報告

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の第6波・第7波の影響もあり、地域福祉活動は、人と人とがふれあい・交流する対面型の活動を引き続き中止や延期する状況が続く中、感染予防対策を取りながら、区社協事業を実施した。

重点目標1つ目の『つながり・交流・相談する「場」づくりの推進』では、当事者支援事業（発達障がいを考える会、不登校・ひきこもり親の会、介護者家族の会）の対面型での毎月開催、認知症(キッズ)サポーター養成講座、介護予防や認知症理解の普及などを目的とした「ゆうゆうはつらつ教室」、区内の老人憩いの家等18カ所のポイントを巡るウォーキングラリーでは2,300人を超える区民の参加があるなど、コロナ禍でのつながりと交流の機会を創り出した。

また、重点目標2つ目の『ICTを活用した事業の推進』では、スマホサポーター養成講座の開催と、養成したスマホサポーターの補助によるスマホ講習会&相談会の実施、医療・介護・福祉の連携のための研修会など、ZoomやTeamsなどのオンラインソフトを活用した会議運営や交流活動を推進した。

重点目標3つ目の『住民や地域と専門職が連携した見守りや生活支援の推進』では、地域ケア会議やネットワーク構築のための会議開催のほか、地域における要介護者の見守りネットワーク強化事業における見守りメール協力者連絡会の開催、地域包括ケアフォーラムや認知症啓発映画会の開催など、多くの区民や専門職・機関が参画して行われた。また、生活福祉資金コロナ特例貸付の受付が終了するとともに、貸付償還猶予等の相談を受ける新たなフォローアップ支援事業が始まり、生活福祉資金担当や生活困窮者自立相談支援担当（ウィズゆうゆう）が中心となり、生活課題のある住民への支援に取り組んだ。

最後の重点目標『ボランティア・市民活動の推進』では、ボランティア・市民活動センター運営委員会の定例開催のほか、2年ぶりに「ボランティア広場2022」を開催し、実行委員会による企画運営で多くのボランティア同士の交流や区民へのボランティア活動の啓発につなげることができた。

この他にも、区社協広報紙「ゆうゆう」をより多くの区民に読んでもらうために、全戸配布に切り替えたり、城東区独自の取組みで57回目を迎えた硬貨募金活動では、硬貨交換やその手数料発生による地域の負担を軽減するためバッグ集金サービスを利用するなど新たな取組みも行った。

1 管理運営部門

(1) 会議

①理事会

開催日	場所
令和 4年 6月 3日 (金)	区在宅サービスセンター ゆうゆう
令和 4年 12月 2日 (金)	
令和 5年 3月 10日 (金)	

②評議員会

開催日	場所
令和 4年 6月 15日～25日	書面審議
令和 4年 12月 8日 (木)	城東区民センター ホール
令和 5年 3月 16日 (木)	区在宅サービスセンター ゆうゆう

③評議員選任・解任委員会

開催日	場所
令和 4年 12月 5日 (月)	区在宅サービスセンター ゆうゆう

④校下社会福祉協議会会長会

開催日	場所
令和 4年 4月 21日 (木)	城東区役所
令和 4年 6月 23日 (木)	

⑤役員会

開催日	場所
令和 4年 9月 29日 (木)	区在宅サービスセンター ゆうゆう
令和 5年 3月 10日 (金)	区在宅サービスセンター ゆうゆう

(2) 会員制度

- ①組織構成会員 18団体
- ②住民会員 950人
- ③賛助会員 8法人

(3) 規程・規則等の制定・改正

- ①職員就業規則（改定） 令和5年 3月16日より施行
- ②臨時職員就業規則（改定） 令和5年 3月16日より施行
- ③定款の一部変更（削除）

(4) 研修会

災害ボランティアの活動内容や災害ボランティアセンターの役割や基礎知識を学び、いざというときに災害ボランティアとして活動できる人材を養成するために、一般区民・職員を対象にセミナーを開催した。

日 時	令和5年3月11日（土）
場 所	区在宅サービスセンター ゆうゆう
講演テーマ	災害ボランティア養成講座
講 師	一般社団法人ADI災害研究所
参加者数	23人（内職員：9人）

(5) 共同募金運動への協力

校下社協が窓口となり、毎年10月から12月末の期間に戸別募金・街頭募金・バッチ募金・ダイレクト募金や小・中学校で行う募金などさまざまな形で取り組まれた。集められた寄付金は、福祉施設に配分されるほか、区社協を通じて区内の団体や校下社協へ地域福祉の推進を目的とした事業や行事等に活用した。

令和4年度実績額	金11,472,756円
----------	--------------

(6) 硬貨募金運動

この運動は昭和41年に1円玉募金として始まり、昭和51年に名称を硬貨募金運動に変更したが、令和4年度で57回目を迎え今もなお開始当時の精神は受け継がれている。校下社協が窓口となり、地域振興会の協力のもと行われており、寄付金は高齢者・障がい者・青少年福祉事業に活用した。

令和4年度実績額	金6,950,333円
----------	-------------

(7) 善意銀行

①預託及び払出

預託件数		預託金額（内容）
金銭預託	13件	1,512,306円

払出内容	払出先
高齢者月間・敬老の日記念行事 (659,187円)	各校下社会福祉協議会
ボランティア応援資金 (720,000円)	各ボランティアグループ18団体
福祉活動助成金等 (120,000円)	各種団体1団体
地域支援事業助成金 (111,000円)	地域1団体
一般払出 (0円)	0件
緊急食料品等給付 (11,000円)	給付24件

②善意銀行運営委員会の開催

開催日	場 所
令和 4年 6月 3日(金)	区在宅サービスセンター ゆうゆう
令和 4年 9月29日(木)	
令和 4年12月20日(火)	

2 地域支援部門

(1) 城東区地域福祉アクションプランの推進

地域ごとに異なる福祉課題の解決に向け、平成23年度に各校下に発足した「校下アクションプラン・プロジェクトチーム」による活動の支援だが、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のためプロジェクトチームリーダー会議、プロジェクトチーム全体会議、区民まつり出展が中止となった。

①校下アクションプラン・プロジェクトチーム会議

開 催 日	場 所
令和4年 4月～随時	各校下

②城東区地域福祉アクションプラン・プロジェクトチーム全体会議

開 催 日	場 所
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	

③城東区地域福祉アクションプラン・プロジェクトチームリーダー会議

開 催 日	場 所
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	

④城東区地域福祉アクションプラン・区民まつり実行委員会

開 催 日	場 所
新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止	

⑤城東区地域福祉アクションプラン事務局会議

開 催 日	場 所
令和 4年 6月14日(火)	区在宅サービスセンターゆうゆう

(2) 地域福祉活動推進事業

コロナ禍においても地域のつながりを絶やさず、住民が生きがいをもって安心して生活ができるよう、住民のニーズに適切なサービスを結び付けていく支援活動や、地域住民の参加と協力による支え合い、助け合い活動の推進体制を整備する活動といった地域福祉の推進を行った。

①校下社会福祉協議会

16校下社協において各地区の特性を生かし、取り組まれている「ふれあい喫茶」や「子育て支援活動」、「食事サービス」などが新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛となるなか、新たな居場所づくりの立ち上げや事業の再開、新規事業の提案などにより活動支援を行った。

②地域支援調整チーム実務者会議「高齢者支援専門部会」の運営

区内の高齢者の実態把握、課題集約を行うことにより、地域福祉の推進を図ることを目的として、隔月第4金曜日に定例会を開催した。

開 催 日	内 容
令和 4年 5月27日(金)	今年度の取り組み、情報提供(オンライン開催)
令和 4年 8月 1日(月)	講演会新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
令和 4年 9月30日(金)	映画上映会「私の人生~我が命のタンゴ~」

令和 4年11月12日(土)	事例検討会・多職種研修会 (WEB開催)
令和 5年 1月27日(金)	障がい者・高齢者虐待防止連絡会 (書面開催)
令和 5年 2月14日(火)	講演会「高齢者に多い精神疾患について」

③地域支援調整チーム実務者会議「障がい部会」への参画

区内の障がい者の実態把握、課題集約を行うことにより、地域福祉の推進を図ることを目的として開催されている部会に参画した。

地域自立支援協議会全体会

開催日	場所
令和 4年9月29日(木)	城東区民センター ホール
令和 4年12月12日(月)	
令和 5年3月23日(木)	

④地域支援調整チーム実務者会議「子ども部会(子育て支援連絡会)」への参画

区内の子育て支援の実態把握、課題集約を行うことにより、地域福祉の推進を図ることを目的として開催されている部会に参画した。

開催日	場所
令和 4年 4月26日(火)	城東区役所
令和 4年 6月28日(火)	
令和 4年 8月30日(火)	
令和 4年10月25日(火)	
令和 4年12月 6日(火)	
令和 5年 2月 7日(火)	

(3) ソーシャルインクルージョン推進事業

「社会的弱者を社会から排除するのではなく、地域社会の中でともに助け合っ
て生きていく」というソーシャルインクルージョンの考え方のもと、すべての住
民が住み慣れた地域で、自分らしく、安心して暮らせる地域づくりを進めるため
に、地域の団体や企業、施設、学校等と連携を図り、平常時よりつながりを深め
ながら災害時に備えるとともに、地域の実情に応じた課題を解決できる新たな地
域福祉システムの構築をめざすことを目的に、災害時要援護者支援事業、城東区
地域福祉アクションプラン推進支援事業、新たな地域福祉活動支援事業を実施し
た。

①地域福祉支援員連絡会の開催

開催日	内容
令和 4年 4月13日(水)	地域サポーター・推進コーディネーター任命式

令和 4年 5月26日(木)	城東区自立支援協議会とのボッチャ練習会
令和 4年 6月22日(水)	『個人情報保護について～まもって生かす個人情報』 配信にて視聴
令和 4年 7月13日(水)	『意思決定支援(ACP)について』 受講
令和 4年 9月14日(水)	『女性の要配慮者と防災～防災準備と避難所運営で気をつけること～』 受講
令和 4年10月14日(金)	『ボッチャ大会 in ピアフェスタ』に参加
令和 4年11月25日(金)	『地域で取り組む高齢者・障がい者の避難支援』 受講
令和 4年12月14日(水)	『自分たちの地域の要配慮者避難について検討』
令和 5年 1月11日(水)	人と防災未来センター(神戸市) 施設見学
令和 5年 2月13日(月)	『認知症になっても安心して暮らせるまちづくり』
令和 5年 3月 8日(水)	令和4年度活動の振り返り

※8月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

②その他関連業務の実施

- ・地域福祉支援員活動の支援(常時)
- ・地域福祉支援員活動事務用品の調達支援
- ・地域福祉支援員活動日報・月報・年間活動報告のとりまとめ
- ・地域福祉支援員の報酬の支出、および支出にかかる税務処理等庶務業務
- ・地域福祉活動支援コーディネーター関係業務
(森之宮地域のスマートエイジングシティの理念を踏まえたまちづくりなど)

(4) 高齢者福祉月間運動の推進

毎年9月の高齢者福祉月間に80歳以上の方、金婚夫婦を対象に祝い品を贈呈している。(調査・配付は校下社協を通じ行なった)

令和4年度の80歳以上の方は11,680人で、区内最高齢者は107歳の女性、金婚夫婦は252組。また、例年、高齢者訪問を民生委員協議会と共催で行っていたが、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止を決定した。

(5) 福祉教育の推進

小・中学校、地域団体、ボランティアグループ等に福祉教育として、車椅子・アイマスクを使用しての実技やゲストティーチャーによる講義を行った。令和4年度は、小学校に協力し、指導を行った。

開催日	学校・団体等	実人数
令和 4年10月28日(金)	榎並小学校3年生	65人

(6) 子育て支援

子育ての不安感の軽減を図ることを目的に、「わくわくする子育て」「子育ては楽しい」をコンセプトとして区内の関係機関などと共催で「わくわく子育てフェ

スティバル」を3年ぶりに開催

また、子育て中の方を対象にヨガやカフェを通して育児疲れの緩和を行うとともに、子育てにおける困りごとなどを当事者同士で情報交換・支えあいの場となる「親子カフェ」を開催。

「親子カフェ」

開催日	場所
令和 4年 5月25日 (水)	区在宅サービスセンター ゆうゆう
令和 4年 6月22日 (水)	
令和 4年 7月27日 (水)	
令和 4年 9月28日 (水)	
令和 4年10月26日 (水)	
令和 4年11月30日 (水)	
令和 5年 1月25日 (水)	

(7) 当事者支援事業

発達障がい、不登校・ひきこもりなどの当事者、家族、支援者などが集まり、悩みや不安感の軽減を図ることを目的に、集いの機会を設けた。

① 発達障がいを考える会 (カラフル) 開催場所：城東区在宅サービスセンターゆうゆう

開催日	参加者数
令和 4年 4月16日 (土)	16人
令和 4年 5月21日 (土)	12人
令和 4年 6月18日 (土)	12人
令和 4年 7月16日 (土)	9人
令和 4年 8月20日 (土)	11人
令和 4年 9月17日 (土)	17人
令和 4年10月15日 (土)	16人
令和 4年11月19日 (土)	13人
令和 4年12月17日 (土)	13人
令和 5年 1月21日 (土)	14人
令和 5年 2月18日 (土)	10人
令和 5年 3月18日 (土)	14人

② 不登校・ひきこもり親の会（ほっとタイム）開催場所：城東区在宅サービスセンターゆうゆう

令和 4年 4月16日（土）	4人
令和 4年 5月21日（土）	8人
令和 4年 6月18日（土）	7人
令和 4年 7月16日（土）	6人
令和 4年 8月20日（土）	3人
令和 4年 9月17日（土）	6人
令和 4年10月15日（土）	13人
令和 4年11月19日（土）	5人
令和 4年12月17日（土）	6人
令和 5年 1月21日（土）	6人
令和 5年 2月18日（土）	7人
令和 5年 3月18日（土）	10人

③不登校、ひきこもりを学ぶ講演会の開催

不登校、ひきこもりの方を抱え悩まれている家族の方や関係者を対象に接し方などについて学ぶ事を目的に開催した。

日 時	令和4年8月4日（木）
場 所	区在宅サービスセンター ゆうゆう
講演テーマ	子どもの心を知る、解る～見守り寄り添うとは～
講 師	小島俊久氏（カウンセリング&コンサルティングフロンティア代表）
参加者数	26人

（8）認知症サポーター養成講座

認知症を理解し、認知症の本人やその家族を支え、誰もが暮らしやすい地域をつかっていくために、地域の方々や小学生を対象に「認知症サポーター養成講座」「認知症キッズサポーター養成講座」を開催した。また各関係機関の連携・協働にて「キャラバンメイト連絡会」を運営し、地域における「認知症サポーター養成講座」の推進役を担っている。

	開催日	対象者	参加者数
1	令和 4年 6月17日(金)	地域住民(鯉江東憩の家)	16人
2	令和 4年 6月27日(月)	野江訪問看護ステーション	13人
3	令和 4年 8月26日(金)	エールガーデンDS	4人
4	令和 4年 9月16日(金)	区民向け講座①	19人
5		区民向け講座②	20人
6	令和 4年 9月29日(木)	菟小学校2・3年生	173人
7	令和 4年10月27日(木)	城東ちどり保育園	25人
8	令和 4年11月 7日(月)	城東ちどり保育園	24人
9	令和 4年11月21日(月)	鯉江東小学校4年生	26人
10	令和 4年11月22日(火)	鯉江東小学校4年生	26人
11	令和 4年11月24日(木)	鯉江東小学校4年生	27人
12	令和 4年12月3日(土)	東中浜地域住民	40人
		合計 12回	413人

(9) 車椅子貸し出し事業

通院など急に車椅子が必要な場合や、一時的な使用に区民に貸し出しを行った。貸し出し期間は、1ヶ月以内。

団 体		個 人	
2団体	13台	延べ422人	延べ422台

(10) ボランティア・市民活動センター事業

①登録者数(令和5年3月31日現在)

個 人	グループ	
152人	31グループ	257人

②ボランティア(個人・グループ)連絡会

	事業名称	備考(内容等)
1	令和 4年9月22日(木)	ボランティア連絡会 センターよりボランティア広場の説明、情報交換(コロナ禍の活動における工夫点、今後やってみたい活動について)
2	令和 5年3月22日(水)	ボランティア連絡会・学習会 センターからの連絡事項、情報交換等 学習会「ボランティアが社会を変える!?! ~ダブルケアの視点から~」 参加者 23人

③ボランティア養成事業

	事業名称	備考（内容・延べ参加人数等）
1	スマホサポーター養成講座 ※生活支援体制整備事業と共催	令和4年8月18日（木）、23日（火）、30日（火） ・基本操作とサポーターとしての心構え ・インターネットの活用方法を考えよう ・LINEでのコミュニケーション方法を伝えよう
2	傾聴ボランティア養成講座	令和4年10月26日（水）、11月2日（水）、9日（水） ・「傾聴」とは ・グループで対話や聴き方の技法を学ぶ ・人間関築くために（ロールプレイング）
3	子育て支援ボランティア講座 全8回（東成区4回、城東区4回）	令和4年11月11日（金）、18日（金）、25日（金）、12月1日（木）、8日（木）、9日（金）、16日（金）、22日（木） （ファミリー・サポート・センター事業提供会員講座を兼ねる） ・乳幼児期の心とからだ ・子どもの栄養と食事 ・障がいのある子どもとの関わり ・乳幼児期の絵本の役割等
4	音訳ボランティア養成講座	令和5年3月2日（木）、9日（水）、16日（水）、23日（水） ・音訳とは ・発音練習、音訳基礎を学ぶ ・録音体験、パソコン操作の基礎

④活動支援事業

	事業名	内 容
1	傾聴ボランティアグループ「ゆずは」	定例会への参加、広報周知 活動先の受給調整等
2	写真・ぬり絵クラブ	定例会への参加 （展示、活動場所情報提供・相談支援）
3	ボランティア作品展示会	コロナ禍で作成した作品を区民に見てもら う機会を設ける
4	ゆう和会	定例会への参加
5	任意団体 君彩	ダブルケアに関する活動の周知、広報協力
6	ボランティア広場	スギタクレストホールにて、パフォー マンスや作品展示をする機会を設ける

⑤ボランティア・市民活動センター運営委員会

ボランティア・市民活動センターでは、センターの機能強化、また、従来の活動者以外の層の人達の参画やNPOなど多分野の団体と連携して、地域のニーズ

に合った新たな取り組みや仕組みを構築していくため、委員会を開催した。

令和 4年7月29日(金)	センターからの報告及び課題の共有
令和 5年2月24日(金)	今後の運営委員会の動きについての検討

参加メンバー：NPO代表、ボランティアグループ代表、学識経験者
市社協担当者（オブザーバー）

（11）生活支援体制整備事業

城東区全域を対象としたウォーキングラリーを開催し、コロナ禍で課題となった運動機能の低下やつながりの希薄化を解決する動機付けを行った。

また、地域への関りが希薄な男性高齢者へのアプローチとして、「健康維持」「介護予防」をテーマとした『男の体操教室』を実施した。男性だけの空間を創り出すことで参加することのハードルが下がり、地域活動へ繋がるきっかけとなった。社会資源の創出として、高齢者によるスマートフォンの活用促進を目的としたスマホサポーターの養成やスマホに関する講習会を令和3年度に引き続き実施した。

①地域資源の創出

新規立ち上げ	9件
既存資源の拡充	2件
既存資源の継続支援	15件

②第1層協議体の開催

開催日	場所
令和4年 8月 2日(火)	区在宅サービスセンター ゆうゆう
令和5年 3月 7日(火)	

③第2層協議体の開催

開催日	場所
令和4年12月2日(金)	放出憩の家
令和4年12月9日(金)	城東福祉会館
令和4年12月13日(火)	関目憩の家
令和5年2月20日(月)	区在宅サービスセンター ゆうゆう

④担い手養成講座・ワークショップ等の開催

	事業名称	備考（内容・延べ参加人数等）
1	城東区 ウォーキングラリー	令和4年5月16日(月) ～令和4年6月30日(木) 憩いの家等、区内18カ所のポイントを巡り、 ポイント来所時に地域活動等の周知を行う。 参加人数延べ2,356人
2	健康麻雀交流大会 &健康麻雀体験講座	令和4年5月20日(金) 地域の垣根を超えた区全体での交流を健康麻雀 を通して行う。 ・健康麻雀とは、役やマナーについて 等 参加人数延べ65人
3	スマホサポーター 養成講座 ※ボランティア・市民活動センターと共催	令和4年8月18日(木)、23日(火)、30日(火) ・スマートフォンの基本操作やインターネット 使用時の注意点、LINEの機能について 等 参加人数延べ12人
4	スマホ講習会&相談会	令和4年10月25日(火)、28日(金)、 令和5年2月3日(金) ・スマートフォンの基本操作について 参加人数延べ43人 ※スマホサポーターが講師補助として参加
5	男の体操教室	令和5年2月10日(金)、3月10日(金) 区内在住の概ね65歳以上の男性を対象とし た、柔軟や体幹トレーニング等の体操指導 参加人数延べ25人

(12) 介護予防教室事業

65歳以上の介護保険の第一号被保険者及びその支援に関わる方、閉じこもりがちな高齢者の介護予防に資する通いの場を確保し健康運動指導士や管理栄養士、歯科衛生士などの専門家の指導を受け介護教室予防事業を行った。

介護予防教室事業の内容及び参加者延べ人数

開催箇所	開催回数	利用人数
33カ所	全373回	3,457人

(13) 子育て活動支援事業他2事業（城東区子ども・子育てプラザ）

①子育て活動支援事業

次代を担う子どもの健やかな育成を図り、家庭や地域の子育て力を高めるために支援するとともに、乳幼児期の親子や子育て支援関係者、就学期の子どもたちがつどい交流する機会を提供し、地域福祉活動の推進を図った。また、城東区独自の「子育て支援連絡会」「わくわく子育てフェスティバル」へ参画・協力し、子どもの育成を図り、プラザについて周知した。「絵本で子育て・みんなで子育て推進事業」のイベントとして「城東区絵本読み聞かせ月間」を実施した。令和4年度に再開した子育てサロンへ訪問し、出前講座に取り組む等、各地域に応じた必要な支援を行った。

子育て中の親子の支援	3,418人
児童の健全育成	2,520人
地域関連事業	187人
自主的な子育て活動支援	895人
その他（一般利用・区事業）	795人
計	7,815人

利用登録者数

小学1～3年生	小学4～6年生	中高校生	総計
78人	169人	81人	328人

②地域子育て支援拠点事業（つどい）

乳幼児期の子どもを持つ親と子どもが気軽につどい交流する場所の提供や育児相談の機会を提供することにより、地域の子育て支援機能の充実を図り、子育て家庭の親とその子どもの健やかな育ちを支援した。

交流の場の提供と促進	3,448人
子育て支援講座	328人（再掲）
ブックスタート事業	126人（再掲）
計	3,902人

利用登録者

0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	保護者	計
224人	202人	112人	71人	119人	724人	1,452人

③ファミリー・サポート・センター事業

子どもの一時的な預かり・幼稚園や保育園等への送迎等、突発的な子育て支援のニーズに応えるために、子育ての援助を行いたい人（提供会員）と援助を受けたい人（依頼会員）とを組織化し、会員同士による子育ての相互援助活動を実施するための調整業務を行った。

会員登録数

依頼会員	254人
提供会員	55人
両方会員	11人
計	320人
総ペア数	267組
年間活動件数	830件
子育て活動支援事業 (3事業) 利用総数	12,053人

全会員向け交流会・学習会の実施

交流会	17人
学習会	8人
計	25人

提供会員養成講座の実施

子育て支援ボランティア養成講座兼提供会員養成講座 全8回(各区4回ずつ実施) ※城東区ボラティアセンター・東成区ボラティアセンター・プラザと共催	令和4年11月11日(金)、18日(金) 25日(金)、12月1日(木)、8日(木) 9日(金)、16日(金)、22日(木) ・活動中のこどもの安全(ヒヤリハット) ・障がいのある子どもとの理解 ・子どもの栄養と食生活 ・児童虐待と社会的養護 他
計	15人

(14) 社会福祉施設連絡会の開催

4月28日	役員会
5月16日	役員会
6月13日	<p>第1部 総会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員改選 ・令和3年度活動報告(案)並びに収支報告(案)について ・令和4年度活動計画(案)並びに収支予算(案)について <p>第2部 講演会「児童虐待について」 ～子どもたちにおきていること～ 講師：城東区役所子育て教育担当課長 小川慶子氏 事例紹介：城東区障がい者基幹相談支援センター 小倉康司氏</p> <p>出席者 32人</p>
7月20日	役員会
9月13日	役員会
10月21日	<p>講演会</p> <p>テーマ「福祉とまちづくり」 ～がもよん古民家再生プロジェクトを通して見えてきたもの～ 講師：(一社)がもよんにぎわいプロジェクト代表理事 和田欣也氏</p> <p>参加者：22人</p>
11月8日	役員会
12月15日	役員会
2月2日	<p>一水会合同学習会 ※希望施設のみオンライン参加 社会福祉施設の公益的な取組みの推進 ～コロナ禍での調査結果と実践事例から～ 参加者：3人</p>
2月22日	<p>研修会</p> <p>(1) 「城東区地域福祉プランについて」 講師：城東区役所保健福祉課長 椿谷康夫氏</p> <p>(2) 「城東区の子どもについて」 講師：城東区役所子育て教育担当課長 小川慶子氏</p> <p>参加者：20人</p>

(15) 実習生の受入れ

社会福祉に携わる人材の育成はもとより、区社協業務の啓発も兼ねるため、実習を希望する団体の受入れを行った。

期 間	学 校 名 等	実 人 数
令和4年 11月 1日(火) ～12月 7日(水)	龍谷大学	23日間(半日実習有) 1人(187時間)

(16) 広報・情報活動の促進

①広報紙「城東区社協情報 ゆうゆう」の発行

区社協の情報を広く区民に周知するため、全戸配布(ポスティング)にて4回発行した。

発 行 日	部 数	配 布 先
令和4年 4月 1日(96号)	各94,000部	全戸配布 (ポスティング)
令和4年 7月 1日(97号)		
令和4年10月 1日(98号)		
令和5年 1月 1日(99号)		

②ホームページの充実

区社協の情報やお知らせ等をホームページでタイムリーに周知した。

ホームページアドレス <https://www.jyotan-sky.org>

③フェイスブックの充実

区社協およびボランティア・市民活動センターのフェイスブックにて、区内の地域福祉活動紹介やイベント案内等の情報周知に努めた。

④YouTube チャンネルの運営

区社協の取組みを中心に区民の生活に役立つ情報を発信することを目的に運営し、情報周知に努めた。また、コロナ禍により困難となった講演会等の実施媒体としても活用した。

チャンネル登録者：56人

投稿回数：3件(史跡めぐり、広げよう集いの場、スマホサポーター活動日記 vol 1・2等)

3 生活支援部門

(1) 地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業

「要援護者の把握」「要援護者世帯の孤立化防止」「地域の支えあいの推進」を目的に平成27年度から本事業を推進してきた。

具体的には下記の取り組み、地域における平時の見守り活動や災害時の避難体制を強化するため、要援護者を支援するネットワーク構築に向けて実施した。

◇機能① 要援護者名簿に係る同意確認・名簿整備

- ・行政と地域が保有する要援護者情報を集約
- ・要援護者名簿への記載にかかる同意確認
- ・要援護者名簿を活用した地域での見守り活動の推進

ア) 郵送による同意確認

新規対象者	再発送数	回答数	同意件数	不同意件数
1, 617人	96件	1, 174件	843件	331件

イ) 訪問による同意確認

新規対象者	再訪問数	回答数	同意件数	不同意件数
1, 062人	756件	178件	121件	57件

◇機能② 孤立世帯等への専門的対応

- ・セルフネグレクト等の困難事例への専門的な支援
- ・ライフライン事業者等からの通報への対応

ア) 相談件数

訪問 (個別)	訪問 (個別訪問以外)	電話	来所	手紙・メール・FAX	その他	合計
904件	197件	4,344件	391件	199件	312件	6,347件

イ) 相談実人員

相談実人数	男	女	不明
673人	304人	366人	3人

ウ) 年齢 (内訳)

0-6歳	7-17歳	18-39歳	40-64歳	65-74歳	75歳-	不明
0人	0人	16人	82人	110人	426人	39人

エ) 属性 (内訳)

要支援・要介護の高齢者	要支援・要介護以外高齢者	身体障がい者・児	知的障がい者・児	精神障がい者・児	発達障がい者・児	難病
294人	194人	89人	8人	24人	1人	3人
生活困窮者	子育て中の保護者	その他				
20人	0人	40人				

オ) 相談内容 (内訳)

相談内訳 合計 10,539件	経済・生活問題	福祉サービス	保健・医療	介護	子育て	就労
	1,549件	1,432件	865件	238件	7件	117件
	いきがづくり	虐待	家族・家庭問題	見守り	ごみ屋敷	その他
	130件	9件	362件	929件	356件	4,545件

◇機能③ 認知症高齢者等の行方不明時の早期発見

・行方不明となった時に事前登録した本人情報を協力者にメール配信

ア) 協力者

	協力者種別						
	協力者登録数合計	本市事業(高齢者支援)を委託している機関	介護保険制度関係団体	医療関係団体	地域関係団体	民生委員・児童委員	その他
R4年度累積登録数	35件	0件	0件	0件	0件	30件	5件
R5年3月末現在登録数	429件	13件	27件	77件	25件	205件	82件

イ) 登録者

	期末登録者	性別内訳		年齢内訳			
		男	女	65歳未満	65-70歳	70-75歳	75歳以上
R4年度累積登録数	60人	22人	38人	0人	2人	9人	49人
R5年3月末現在登録数	251人	93人	158人	3人	5人	14人	229人

	要介護認定情報							
	認定なし	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
R4年度累積登録数	12人	0人	0人	24人	12人	8人	1人	3人
R5年3月末現在登録数	38人	3人	0人	53人	38人	60人	27人	32人

	認知症高齢者日常生活自立度								
	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明
R4年度累積登録数	0人	0人	7人	29人	4人	2人	0人	0人	18人
R5年3月末現在登録数	0人	1人	19人	77人	52人	14人	10人	0人	78人

ウ) 行方不明時発生状況

配信依頼件数	区内	区外(市内)	区外(府下)	府外
6件	1件	3件	2件	0件

発見件数	発見内訳		未発見件数
	協力者による発見	その他による発見	
6件	0件	6件	0件

発見場所	区内	区外(市内)	区外(府下)	府外
	1件	4件	1件	0件

エ) 機能3 協力者連絡会の開催

事業名称	備考(内容・延べ参加人数等)
見守りメール協力者連絡会 『認知症になっても安心して暮らせるまちづくり』	令和5年2月13日(月) 城東スギタクレストホールにて開催 ・認知症等による行方不明高齢者の現状 ・見守りメールを含めた見守りサービスや、地域の見守り活動に関して意見交換 参加人数延べ59人

(2) あんしんさぽーと事業(日常生活自立支援事業)

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が不十分な方の利用に不安のある方への「福祉サービス等利用援助」を対象に福祉サービスや預貯金の出し入れ、支払い手続きの代行「金銭管理サービス」、通帳、証書類を預かる「預かりサービス」を行った。

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	計	相談援助件数
67人	42人	37人	0人	146人	9,296件

(3) 生活福祉資金貸付事業

相談者(低所得者世帯、高齢者世帯、障がい者世帯、失業者世帯等)に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行った。他の部署(生活困窮者自立支援事業、城東区民児協、民生委員、福祉事務所等)とも連携を図り、相談者の必要な援助指導を行った。

ア) 貸付申込に関する相談(件数)

	福祉資金	教育支援資金	緊急小口資金	不動産担保型生活資金 (要保護世帯を含む)
電話相談	795件	295件	86件	1件
窓口相談	243件	155件	48件	2件
申込書配布	21件	23件	8件	0件
決定件数	18件	21件	6件	0件
自立支援機関との連携	109件	3件	118件	0件

イ) 償還等の対応状況 (件数)

	福祉資金	教育支援資金	緊急小口資金	不動産担保型生活資金※
電話相談	36件	49件	1件	0件
窓口相談	1件	20件	2件	0件

※要保護世帯を含む

ウ) コロナ特例 (件数) ※令和5年9月末で受付終了

	緊急小口資金及び総合支援資金
電話相談	597件
窓口相談	481件
決定件数	352件
自立支援機関との連携	292件

エ) コロナ特例貸付フォローアップ支援事業 (償還猶予等の相談)

償還猶予等の相談受付件数	679件
償還猶予申請にかかる意見書作成件数	26件

(4) 生活困窮者自立相談支援事業

生活保護の1つ前のセーフティネットとして、様々な悩み、問題を抱える相談者に対し「断らない相談」を実施。相談に来られた方が少しでも早く安心・安定した生活を取戻せるよう、住居確保給付金や就労支援、家計改善支援事業等の制度に基づく支援と、他関係機関との連携を活用し、対応にあたった。

令和4年度については、新型コロナウイルスの影響による生活相談は、若干減少したものの特例貸付及び自立支援金等の受付期間の度重なる延長により各受給者等の対応も引き続き行った。

① 相談受付件数

令和4年度	令和3年度
736件	848件

② プラン策定

	令和4年度	令和3年度
プラン策定件数	90件	118件
うち初回プラン	57件	93件

就労支援者数	52件	76件
住居確保給付金 決定者	17件	22件
就労訓練事業 利用者	5件	1件
就労準備支援事業 利用者	0件	1件
家計改善支援事業 利用者	6件	10件
不登校支援事業 利用者	7件	7件

③ 評価実施ケース数

	令和4年度	令和3年度
評価総数	107件	117件
終 結	69件	92件
再プラン	37件	25件

④ 支援会議（実施主体は区役所）

（支援同意のない生活困窮のおそれのある世帯への介入検討会議）

	令和4年度	令和3年度
全 体 会 議	2件	1件
個別ケース会議	16件	14件

⑤ アウトリーチ（訪問支援）

	令和4年度	令和3年度
利用者訪問（庁外）	426件	388件
会議等への出席（庁外）	16件	38件

⑥ その他実績について

	令和4年度	令和3年度
就労達成者	37件	43件
増収達成者	9件	12件

法律相談（新規）	22件	35件
----------	-----	-----

緊急食糧品等給付事業	0件	7件
フードバンク	1件	7件
その他備蓄食料支援	53件	31件

無料低額診療利用	1件	6件
----------	----	----

生活保護へのつなぎ	14件 (受給13件)	65件 (受給49~5件)
-----------	----------------	------------------

⑦関係機関との連携（情報共有、イベント等の開催）

- ・地域ケア会議（個別ケース及び振返り会議）： 16件
- ・総合的な相談支援体制の仕組みづくり事業（通称つながる場）
個別ケース会議： 4件
- ・城陽地域ケアフォーラム
「複合課題を抱えた困窮世帯を誰がどう支援する？」共催
- ・第9回ひまわりフードパントリーにて出張相談開催

（5）終活相談事業（ハッピーエンド）

本事業は、城東区在住の概ね65歳以上の高齢者を対象に、人生の締め括りの準備（葬儀・墓、遺言、相続、遺贈など）について幅広く相談を受け付けている。

堀内基金を財源に、令和3年10月にプレスタート、令和4年度より本格的に開始している。週3日（月・水・金）専従職員が窓口となり、相談内容に応じて相続アドバイザーや司法書士等と相談に応じている。

①相談者性別

男性	女性	計
14人	28人	42人

②相談経路

電話	来所	その他	計
28人	12人	2人	42人

③年齢別

－59歳	60-64歳	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85-89歳	90歳-	不明	合計
2人	2人	7人	6人	12人	4人	5人	4人	0人	42人

④相談の対象（※重複有）

自分自身	きょうだい	配偶者	親	子ども	計
31件	8件	9件	1件	4件	53件

⑤主な相談内容（※重複有）

身元保証について	相続方法について	死後事務について	遺言などについて	独居生活への不安	配偶者死後の不安
10件	10件	10件	5件	4件	4件
葬儀・墓について	生前整理について	財産管理について	家財処分について	死後全般・その他	合計
5件	5件	2件	1件	5件	61件

4 相談支援部門

(1) 地域包括支援センター運営事業

大阪市からの委託を受けて、保健師または、地域で活動経験のある看護師や社会福祉士、主任ケアマネジャーが協力し、高齢者が住みなれた地域でいきいきと暮らせるように、高齢者とその家族への相談支援に努めた。

介護予防事業への参加を必要とする方や、要支援状態の方に対するケアプラン作成、高齢者虐待など権利擁護を含む様々な相談、ケアマネジャーからの困難事例の相談に積極的に応じ、解決策を図るために地域や関係機関と連携し、支援体制の構築を図った。また、介護をされている家族のための介護教室等を開催した。

介護予防ケアプラン及び介護予防ケアマネジメント作成数	延べ 6,959 件	(うち、一部委託数 延べ6,881 件)
自包括介護予防支援及び予防ケアマネジメント作成数	78 件	
総合相談件数	延べ 9,434 件	訪問による相談延べ1,483 件 電話による相談延べ6,649 件 来所による相談延べ1,195 件 その他による相談 延べ107 件
地域ケア会議の開催	51 回	個別 21 回、振返り 1 回、自立支援型 22 回、見えてきた課題まとめ 7 回
総合相談窓口連絡会議の開催	12 回	
地域密着型サービス運営推進会議への参加	14 回	担当圏域内のグループホームやデイの運営推進会議への参加
ネットワーク構築のための会議開催、参加	108 回	・包括周知・啓発のためのミニ講演会 ・地域の会議への参加 ・各地区民生委員児童委員連絡会 ・医師会ネットワーク会議 等
城東区地域包括支援センター運営協議会への出席	3 回	保健福祉センターが開催する運営協議会への出席 (書面開催含)
介護支援専門員個別相談件数	1,672 回	
居宅介護支援事業所連絡会の開催、参加	6 回	
介護支援専門員への研修開催	7 回	

①地域包括支援センター連絡会

会議回数	主な出席者	主な内容
12回	区保健福祉センター、城東区地域包括支援センター、城東・放出地域包括支援センター、城陽地域包括支援センター、葦・鯉江東地域包括支援センター、鯉江地域総合相談窓口、蒲生地域総合相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会との連絡会について ・高齢者虐待について ・評価について ・運営協議会について ・区との連携について ・保健活動との連携について ・困難事例について

②認知症支援の多職種連携

会議回数	主な出席者	主な内容
9回	医師会、城東区地域包括支援センター、城東・放出地域包括支援センター、城陽地域包括支援センター、葦・鯉江東地域包括支援センター、蒲生地域総合相談窓口、鯉江地域総合相談窓口、区保健福祉センター、在宅医療・介護連携支援相談室、認知症地域支援推進担当	認知症支援ネットワーク、認知症支援関係者会議として共催・参加。 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度の取り組みについて ・地域包括ケアフォーラムについて ・多職種連携研修会について ・認知症初期集中支援チームとの連携について ・認知症についての地域課題の検討

③介護予防・認知症予防プログラム

介護予防の普及、認知症の理解普及、高齢者の認知症予防と軽度認知機能障がい
の早期発見と対応を目的にいくつかのプログラムを開催した。

ア) ゆうゆうはつらつ教室の開催

開催日・会場	主な出席者	主な内容
①令和4年6月23日(木) ②令和4年7月21日(木) ③令和4年8月25日(木) ④令和4年9月22日(木) ⑤令和4年10月27日(木) ⑥令和4年11月24日(木) 区在宅サービスセンター	一般住民	①脱水・熱中症予防 ②食事について ③あなたの血管年齢は？(中止) ④ついで・しながら運動 ⑤頻尿・尿漏れについて ⑥人生会議

イ) 認知症予防プログラムの開催

開催日・会場	主な出席者	内 容
①令和4年 9月15日(木) ②令和4年10月13日(木) 区在宅サービスセンター	一般住民	①「聞いて感じて！認知症予防」 ②「音楽で認知症予防」

④ 高齢者総合相談窓口(ランチ)連絡会

開催回数	主な出席者・人数	内 容
12回	蒲生地域総合相談窓口、 鯉江地域総合相談窓口、 城東区地域包括支援センター 各回6人	<ul style="list-style-type: none"> ・事務連絡、情報交換 ・今年度活動について ・活動方針、計画について ・支援事例の共有

⑤ 高齢者虐待防止に係る周知・啓発

ア) 区社協広報誌「ゆうゆう」に掲載

イ) 各地区民生委員児童委員連絡会にて、大阪市作成のリーフレットを配布し啓発を行った。

主な出席者	会 場
鯉江地域民生委員、主任児童委員	鯉江憩の家
成育地域民生委員、主任児童委員	成育公園集会所
聖賢地域民生委員、主任児童委員	区民センター
榎並地域民生委員、主任児童委員、地域福祉支援員	榎並福祉会館

ウ) 自立支援型ケアマネジメント小会議で、ケアマネジャーに対して掲載

⑥ 城東区ネットワーク会議

開催回数	主な出席者・人数	内 容
3回	医師会、歯科医師会、薬剤師会、医師会訪看、野江訪看、在宅医療コーディネーター、在宅歯科コーディネーター、済生会野江病院、介護支援専門員協会、居宅介護支援事業者連絡会、リハビリテーション事業所連絡会、認知症初期集中支援チーム、区保健福祉センター、城東・放出地域包括支援センター、城陽地域包括支援センター、葦・鯉江東地域包括支援センター、城東区地域包括支援センター 各回約30人	<ul style="list-style-type: none"> ・意思決定支援、区民還元 ・多職種研修会について ・区民講演会について ・認知症ケアパス(認知症あんしんガイド等)について ・各ワーキンググループからの経過報告 ・令和4年度各機関における感染対策などの活動について

⑦ 介護者家族の集い(城東かぼちゃの会)

開催回数	主な出席者・人数	主な内容
12回	かぼちゃの会会員、 デイサービス事業所、見守り相談室、城東区地域包括支援センター 各回9～15人程度の参加	<ul style="list-style-type: none"> ・介護状況報告 ・家族介護支援事業の案内 ・情報提供 ・その他連絡事項

⑧ その他

ア) キャラバンメイト連絡会 (参加)

開催回数	主な出席者・人数	主な内容
12回	キャラバンメイト、城東区包括支援センター、城東・放出包括支援センター、城陽包括支援センター、董・鯉江東包括支援センター、認知症地域支援推進員 各回約10人程度	<ul style="list-style-type: none"> ・各分科会（広報班、体制づくり班、フォローアップ班）に分かれての話し合い ・認知症サポーター養成講座の開催について

イ) 地域包括支援センター・総合相談窓口(ブランチ)の周知啓発及び認知症の理解・認知症予防普及啓発等

令和4年度も地域活動や百歳体操などの開催が、新型コロナウイルス感染症拡大などの影響により、開催が見合わせされることが多かったため、「地域包括支援センターだより」を年3回発行し、聖賢地域、成育地域、榎並地域、鯉江地域の4連合の町会班回覧を活用し、周知活動や認知症の啓発記事を掲載するなど工夫した。

ウ) 医療・介護・福祉の連携のための研修会

開催日	主な出席者	内容
令和4年11月12日(土) 城東区医師会 ゆうゆう(サテライト会場) ZOOM オンライン	医療・介護・福祉 関係従事者等	<p>多職種研修会</p> <p>①「成年後見人の身上保護と意思決定支援について」 講師：青木佳史弁護士 (きづがわ共同法律事務所)</p>

エ) 地域ケアフォーラム&認知症講演会の開催

開催日	主な出席者・人数	内容
令和4年10月20日(木) 城東区民センター	一般住人、民生委員、 地域福祉支援員、医師会、 介護支援専門員、 鯉江ブランチ、蒲生ブ	講演「認知症予防の限界～ともに生きる社会を作りましょう～」 講師：堤俊仁氏(つつみクリニック院長)

	ランチ、認知症初期集中支援チーム、区内地域包括支援センター	講演「共に生きるために家族と地域に知っていただきたいこと～共生のための頑張らないくらしの工夫とコツ～」講師：安井学氏（理学療法士）
--	-------------------------------	---

（２）家族介護支援教室

介護を要する高齢者を在宅で介護している家族及び地域住民に対し、高齢者の介護に関する知識の習得、介護負担の軽減、心身のリフレッシュを図るために講演会・交流会、城東区認知症オレンジガイドの配布を行った。

ア) 講演会・交流会の開催

開催日	主な参加者	内容
①令和4年7月9日（土） ②令和4年10月25日（火） 区在宅サービスセンター	一般住民	①「こけ玉づくり」 講師：川野みどり氏 ②「今、ここに生きる～自分史のすすめ～」講師：長尾匡子氏（大阪信愛大学看護学部教授）

（３）認知症強化型地域包括支援センター事業

認知症やその家族が、地域で安心して暮らし続けることができるよう、認知症強化型地域包括支援センターでは、「認知症初期集中支援チーム」、「認知症地域支援推進員」、「認知症地域支援コーディネーター」を配置し活動を行った。

①認知症強化型地域包括支援センター

ア) 認知症施策推進会議

会議回数	主な出席者	主な内容
2回	区地域包括支援センター運遣影協議会委員、区保健福祉センター、城東区地域包括支援センター、城東・放出地域包括支援センター、葦・鯉江東地域包括支援センター、鯉江地域総合相談窓口、蒲生地域総合相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 区の認知症に関する地域課題の検討・共有と取組みについて ・ 認知症初期集中支援推進事業について ・ オレンジサポーター地域活動促進事業について

イ) 認知症初期集中支援推進事業にかかる関係者会議

開催回数	主な出席者・人数	内 容
3回	医師会、歯科医師会、薬剤師会、医師会訪看、野江訪看、在宅医療コーディネーター、在宅歯科コーディネーター、済生会野江病院、介護支援専門員協会、居宅介護支援事業者連絡会、リハビリテーション事業所連絡会、認知症初期集中支援チーム、区保健福祉センター、城東・放出地域包括支援センター、城陽地域包括支援センター、葦・鯉江東地域包括支援センター、城東区地域包括支援センター 各回約 30 人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症総合事業の進捗状況の報告 ・ 認知症支援を行う中での課題や医療・多職種連携における課題やアプローチ方法を検討する ・ オレンジサポーター地域活動促進事業の活動報告 ・ 認知症地域支援推進員の活動報告

ウ) 認知症支援ネットワーク会議

会議回数	主な出席者	主な内容
4回	医師会、城東区地域包括支援センター、城東・放出地域包括支援センター、城陽地域包括支援センター、葦・鯉江東地域包括支援センター、蒲生地域総合相談窓口、鯉江地域総合相談窓口、区保健福祉センター、在宅医療・介護連携支援相談室、認知症地域支援推進担当	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度の取り組みについて ・ 地域包括ケアフォーラムについて ・ 認知症初期集中支援チームとの連携について ・ 認知症についての地域課題の検討

エ) 認知症啓発映画会の開催

開催日	主な参加者	内 容
令和4年9月30日(木) 区民センター ホール	一般住民 364人	①ゆうゆうオレンジチームについて ②映画「私の人生 ～我が命のタンゴ」上映

オ) 地域包括ケアフォーラムの開催

開催日	主な参加者	内容
令和4年10月20日(木) 区民センター ホール	一般住民 200人	<p>怖がらないぞ!!認知症～認知症になっても安心して暮らすことができるまちづくりを目指して～</p> <p>第1部: 認知症予防の限界とともに生きる社会を作りましょう講師…堤俊仁氏</p> <p>第2部: 共に生きるために</p>

		家族と地域に知っていただきたいこと～共生のための頑張らないくらしの工夫とコツ～講師…安井学氏
--	--	--

②認知症初期集中支援推進事業

適切な医療や介護サービス等に結びついていない城東区内在住の認知症または認知症の疑いのある方を対象に、専門医と医療・福祉・介護の専門職で構成するチームがご本人や家族、民生委員、関係機関などから相談を受け、家庭訪問を行い、認知症に関する総合アセスメントを行った。そして、チーム員会議を開催し、一人ひとりに合った支援の方向性を検討し、ご本人やご家族の自立した生活の支援を行った。

ア) 訪問支援対象者人数（令和4年4月以降の新規相談+前年度からの継続支援者の合計）

男	女	合計
35人	35人	70人

イ) 支援状況

支援終了者	継続支援中	合計
44人	26人	70人

ウ) 対象者世帯類型別

独居	夫婦のみ	未婚の子と同居	夫婦と未婚の子と同居	子と同居	きょうだいと同居	その他	合計
34人	19人	5人	7人	1人	1人	3人	70人

エ) 相談経路

家族	25人
地域包括支援センター・ブランチ （城東区、城東・放出、城陽、葦・鯉江東）	25人
城東区社会福祉協議会事業 （見守り相談室、介護予防事業、生活困窮者自立相談支援事業）	2人
区役所	6人
本人	1人
医療機関	4人

郵便局	1人
薬局	2人
地域関係者	1人
ランチ	1人
その他	2人
合計	70人

オ) 介入時、介入後の医療・介護サービス利用状況（前年度含む支援終了者80人）

	医療・介護サービス利用	医療のみ	介護サービスのみ	医療・介護サービス両方なし	確認できず	支援中	合計
介入時	1人	60人	0人	21人	0人	0人	82人
介入後	42人	35人	0人	5人	0人	0人	82人

カ) チーム員会議 開催回数 12回

キ) 広報・普及啓発活動

地域で潜在している対象者の把握と、出来る限り早期の段階でチームにつなげることができるように、関係機関に事業への協力依頼やちらしの配架、高齢者や地域住民の集まる場所等に出向きチームの役割や機能について周知、広報活動を行った。

ク) 認知症地域支援推進員活動状況

若年性認知症支援	5人
若年性認知症相談 延べ件数	24件
認知症の支援困難症例の主たる支援機関からの相談	32人
認知症カフェの側面的支援（城東区認知症カフェ10カ所）	随時
他の地域包括支援センターや、区内の事業所・施設等への、認知症対応力向上のための支援	適宜

③オレンジサポーター地域活動促進事業

認知症の人が安心して暮らし続ける地域づくりを進めるため、認知症の人やその家族を中心に、オレンジサポーター（認知症サポーターのうちステップアップ研修を受講した方）で構成される「ちーむオレンジサポーター」への支援を行った。また、認知症の人にやさしいまちづくりの活動に取り組んでいただけ

る企業・団体（オレンジパートナー）の周知・募集や取りまとめも行った。

ちーむオレンジサポーター登録件数	5 チーム
オレンジサポーター	17 名
オレンジパートナー登録件数	31 団体